

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	中学校 維持補修費					
担 当 課 係 名	教育総務 課		管理 係		作成者	高橋 三輝
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち				総合計画の ページ
	基本計画	学校教育の充実と教育環境の整備				
	主要施策	学校施設の整備				94
予 算 費 目	一般 会計	10 款 教育費	3 項 中学校費	1 目 学校管理費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規／継続の区分			
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	建築基準法第8条、学校教育法第5条、学校保健法第3条その他関係法令					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市立中学校施設5校。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	生徒の安全な教育環境を維持する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	学校施設設備等に適時・適切な維持補修を行う。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	維持補修箇所	箇所	20	22	
	成果指標	維持補修箇所／要望箇所	%	90	90	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)			3,736	1,730	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他				
		一 般 財 源		3,736	1,730	
	人 件 費 (B)		—	3,927	4,036	
		職 員 数	—	0.50	0.50	
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—	7,663	5,766	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	383,150	262,091	
			—			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	240	184	

【事務事業の今までの成果】

生徒の安全な教育環境を維持し、安全管理上の事故は発生していない。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	年次計画を作成し、財政状況を踏まえ、配当予算内で優先順位による効率的な維持補修を行っている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	生徒が一日の大半を過ごす教育の場として、安全・安心な学校を望んでいる。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	学校施設設備等の維持補修は、生徒が安全な教育環境を維持する上で必要不可欠である。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	限られた予算の範囲で対応しているが、生徒の安全な環境づくりを第一に事業進めている。 引き続き施設整備の安全な環境整備について必要と考える。

一次評価診断図

